

平成 28 年度  
提言書  
「星取県を目指して」



平成 29 年 3 月

鳥取商工会議所青年部 地域資源活性化委員会

会 長 牧浦健泰

担当副会長 平田祐輔

委 員 長 野田幸洋

副 委 員 長 田中大喜

副 委 員 長 岡村 平

#### 委員

石毛 充之 井上 郁代 大國 祐輔

懸樋 弘樹 金居 洋子 木下 裕也

小谷 憲司 杉内 順一郎 高藤 軌晋

田村 康悦 中原 卓也 永美 祐輔

西尾 仁 花田 富幸 福田 弘幸

牧村 匠 圓山 賢治 村尾 保雄

矢倉 浩之 山崎 弘嗣

## ～提言にあたって～

鳥取県は、鳥取砂丘、来年開山 1300 年を迎える大山をはじめとした全国に誇れる様々な自然資源をもっています。その自然資源の中で、私たちが現在注目をしているものは“星空”です。鳥取市は、平成 23 年に環境省実施の星空継続観察で全国 1 位に輝き、また、国内最大級の反射望遠鏡を備えるさじアストロパークがあります。大山での天体観測は天然のプラネタリウムといわれるほど星空観測の環境に適しており、“星空”により近い県と言えます。また、この“星空”を地域資源として活用することは、通過型観光から滞在型観光への転換にも大きな効果があり、新たな観光の可能性、来県者、移住・定住者の増加を促し、鳥取県の経済発展にも大きく寄与する可能性を秘めていると考えております。

私たちは、鳥取県民に、また全国に、鳥取県の“星空”のすばらしさを幅広く認知いただき、地元の魅力である“星空”が県民の誇りとなるよう、以下の 2 点についての取り組みの推進を鳥取県に提言いたします。

## 提言

鳥取市商工会議所青年部 地域資源活性化委員会は、鳥取県の“星空”は大きな可能性を秘めた地域資源であると感じ、その可能性を実現させるための第一歩として ① 光害防止条例の制定 ② 星空を通じた教育の推進 の 2 点について、取り組みの推進を鳥取県に提言します。

### ① 光害防止条例の制定

鳥取県では鳥取県景観計画で特定照明の方法として基準があり、合併前の佐治町では「佐治村の美しい自然と星空を守る宣言」がありますが、鳥取県民全体に「美しい星空を守る。天体観測に良好な環境を守る。」という呼びかけを目的としたものではありません。今後もこの貴重な資源を守り、かつ、県民全体の共有の大切な資源という意識醸成のためにも、光害防止条例（水平以上に出ている光を抑えるフルカット型の照明器具の導入等）の策定を提言します。なお、この条例には現在鳥取県が取り組んでいる、環境保全対策、省エネルギー対策、及び地球温暖化対策にも追加的な効果があると考えます。

### ② 星空を通じた教育の推進

鳥取県はソフト、ハード面のいずれにおいても星空観測に適した環境です。この環境を活用した、小中学生への継続的な星空教室を行い、“星空”という貴重な資源を持つ鳥取県で育ったことが誇りであると気づいていただけるような、教育の取り組みを進めていただくことを提言します。人工流れ星計画を企画している(株)ALE代表の岡嶋礼奈氏（鳥取市出身）は子供の頃に読んだ「相対性理論」のマンガがきっかけで宇宙に興味を湧き、宇宙関連分野へ進んだと聞きました。近い将来、星空教室、天体・宇宙関連の学びがきっかけとなり、鳥取県出身の宇宙飛行士や技術者が誕生し、鳥取県に様々な好影響をもたらす可能性もあるのではないかと考えます。